

■コンセプト：若者向けのスタイリッシュな酒

二十歳の若者が初めて日本酒を飲む、というシーンには多かれ少なかれ「セレモニー」といった意味合いが含まれると思われれます。そしてその場に女性が居るとなると、更にその場の”セッティング”が重要視されます。

その場を飾るにふさわしい、「自分が持っているカッコイイ、カワイイ」事。人にあげて「センスいいね」と言われること。大げさである必要はありませんがこれらをクリアしたパッケージはやはり重要だと思われれます。

■ネーミング：HARE

短くてシンプルで岡山らしい名前。と考えました。天気「晴れ」はもちろん、「ハレ」の日、というおめでたい意味合いも持ち合わせています。

また、覚えやすい名前はクチコミにもなりやすいのではないのでしょうか。

もともとハレとは、折り目・節目を指す概念である。ハレの語源は「晴れ」であり、「晴れの舞台」(＝生涯に一度ほどの大事な場面)、「晴れ着」(＝折り目・節目の儀礼で着用する衣服)などの言い回しで使用されている。また、現代では単に天気の良いことを「晴れ」というが、江戸時代までさかのぼると、長雨が続いた後に天気が回復し、晴れ間がさしたような節目に当たる日についてのみ「晴れ」と記した記録がある。

ハレの日には、餅、赤飯、白米、尾頭つきの魚、酒などが飲食されたが、これらはかつて日常的に飲食されたものではなかった。また、そのための器もハレの日用であり、日常的には用いられなかった。(ウィキペディアより抜粋)

■プロジェクト名：Team HARE

お酒の完成に向けて、色々な分野の人が集まって協力しあうので「チーム」という言葉を使いました。また、英語ですが誰が聞いても分かりやすいと思います。

イメージとしては、「Team HARE ○○担当の◆◆です」と個人がしっかり名乗れるようなといいなと思います。

□参考になりそうな商品

- ・「mutsutoki」 / <http://mutsutoki.com/>
- ・御前酒「ナイン」 / <http://gozenshu9.com/>
- ・「Ohmine」 / http://form.allabout.co.jp/tips/t_gourmet/16/
- ・「彩香 (SAYAKA)」 / http://meizo.jp/experience/project_05.html



いろんな、「はじめて」に出会う日ー。

初めての着物。
初めての同窓会。

初めてのお酒。

初めての感謝。

特別な日ー。

■思い。

成人式は、人生に1度しかなく誇らしく特別な日です。
人生に何度も経験する「初めて」を多く経験する1日。
なかでも、初めてのお酒はとても重要な役割を占めており、
コミュニケーションの場には欠かせません。
ある人は、久しぶりに再会した仲間と。
ある人は、両親と晩酌を。
生涯を通して大切な記憶になる一部分に相応しいお酒。
笑顔と共にあるお酒。
そんなお酒が誕生したら素敵だなと思っています。

■プレゼント。

皆さんのディスカッションの中で、とても有効なものに感じました。
やはり、どんなに素敵なパッケージ・味でも、
初めてのお酒で日本酒を選ぶのは若い世代にとって難しいものです。
日本酒は敷居が高い。お酒にある程度なじんでから。
そのような印象が強いのではないのでしょうか。
そんなイメージを払拭できる、良いものと巡り合う機会。
また、大切な人から20歳への贈り物として、
日本酒は、とても品のあるお目出度い日に相応しいものに感じます。

